

町並み散策ばらり in 神奈川

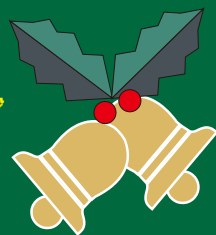
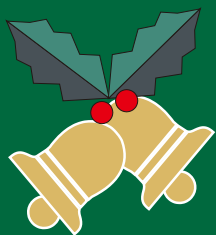


Merry Christmas



横浜山手西洋館めぐり

Bluff No.18 / The Home of Diplomat / Berick Hall
 Grismann Residence / Bluff No.234 /
 British House of Yokohama / Bluff No.111



- ①ブラフ18番館 ②外交官の家 ③ベーリック・ホール ④エリスマン邸
 ⑤山手234番館 ⑥横浜市イギリス館 ⑦山手111番館

1



ブラフ18番館

(横浜市認定歴史的建造物)
 外国人住宅として、関東大震災後に山手町45番地に建てられた。戦後はカトリック山手教会の司祭館として平成3(1991)年まで使用。横浜市は部材の寄付を受け、平成5(1993)年に現在地に移築復元、一般公開。





外交官の家(重要文化財 旧内田家住宅)

設計：J.M.ガーディナ

明治政府の外交官内田定槌市の邸宅として明治43(1910)年に東京・渋谷の南平台に建てられた。横浜市は平成9(1997)年に寄贈を受け、山手イタリア山庭園に移築復元、一般公開。



ベーリック・ホール

(横浜市認定歴史的建造物)／設計：J.H.モーガン

英国人貿易商B.R.ベリック氏の邸宅として昭和5(1930)年に設計され、第二次世界大戦前まで住宅として使用。横浜市は平成13(2001)年に宗教法人カトリック・マリア会より建物の寄付を受け復元改修、平成14(2002)年から一般公開。



エリスマン邸(横浜市認定歴史的建造物)

設計：アントニン・レーモンド

生糸貿易商社シーベルヘグナー商会のフリッツ・エリスマン氏の邸宅として、大正14(1925)年から15(1926)年にかけて山手町127番地に建てられた。昭和57(1982)年にマンション建設のために解体。平成2(1990)年に現在地に再現し、一般公開。



山手234番館(横浜市認定歴史的建造物)

外国人向けの共同住宅(アパートメントハウス)として、昭和2(1927)年頃に建てられた。第二次世界大戦後の米軍による接収などを経て、昭和50年代までアパートメントとして使用されていた。平成元(1989)年に横浜市が歴史的景観保全のために取得。平成9(1997)年に保全改修工事、平成11(1999)年から一般公開。



横浜市イギリス館(横浜市指定文化財)

設計：大英工部総署

英国総領事公邸として、昭和12(1937)年に建てられた。昭和44(1969)年に横浜市が取得、1階ホールはコンサートホールに、2階集会室は会議等に利用されている。平成14(2002)年からは2階展示室と復元された寝室を一般公開。



山手111番館(横浜市指定文化財)

設計：J.H.モーガン

米国人ラフィン氏の住宅として、大正15(1926)年に設計された。横浜市は平成8(1996)年に敷地を取得、建物の寄贈を受けて保存・改修工事を行い平成11(1999)年から一般公開。